

三田市における病児・病後児保育に関する報告について

医療法人社団青山会と三田市との契約により実施してきた標記事業が同法人の申出により、9月末をもって契約を終了することとなりましたのでご報告させていただきます。

【法人の意向】

- ・病児保育事業は、利用者が少なくなっている(グラフ参照 最多 H18:731人→R3:66人)ことに加えて、その事業の特徴(利用が不定期であること、感染症リスクがあること等)から、看護師や保育士の人材を他のサービスと共有することができないなど、人材確保が極めて難しくなっている。
- ・法人としては、事業の見直しにより、需要が高まっている児童発達支援サービスやデイケア事業の充実を図ることで、さらに地域に貢献したい。

【これまでの取り組み等】

- ・受け皿となる施設等を確保するべく、市内小児科医院、病院内保育所等(18か所)に実施の可否について書面により意向調査を実施しましたが、実施意向のある小児科医院はありませんでした。あわせて、基準を満たす病院内保育施設に対して聞き取りを行いました。一般の幼児・児童の受け入れは困難であるとの回答でした。

【今後の取り組み等】

- ・当面、市内の基準を満たす認可外保育施設(企業主導型保育施設)が運営する病児保育施設と連携して、病児・病後児保育のニーズに対応することとします。
- ・さらに、保護者に対しては、保育施設等を通じて周知を図るとともに、現在の利用状況等を踏まえて、新しい病児・病後児保育事業の確保方策を検討することとします。

<現在の委託先:さんだワラビーズの概要>

①定員 4名 ②所在 すずかけ台 ③利用料 1日 2,000円

④事業に係る経費

約900~1,000万円(財源) 国・県補助金、市一般財源(委託料)、利用者負担金、医院負担金

<その他の病児等の受け入れ:キッズアカデミーナースリーの概要>

※認可外保育施設が運営しており、県の開設基準を満たしている施設(ワラビーズと同じく病児対応型として県ホームページに掲載)

①定員 1名 ②所在 八景町 ③利用料 1日 2,000円

④現時点で市との契約関係等なし。⑤連携医療機関 立石医院(小児科)

病児・病後児保育利用者の推移

